2002年 2月15日発行

点訳通信

４９号

盲人情報文化センター　点字製作係
550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2
TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0039

かささぎは

一声なきて飛び立ちたれど

平原は　冬枯れに白し

忘却のふるさとへ

かへりゆかん　すべもなく

ああ　かささぎは

一声なきて

飛び立ちたれど

いずかたの辺に

その小さき　屍をさらすや

報告　勉強会

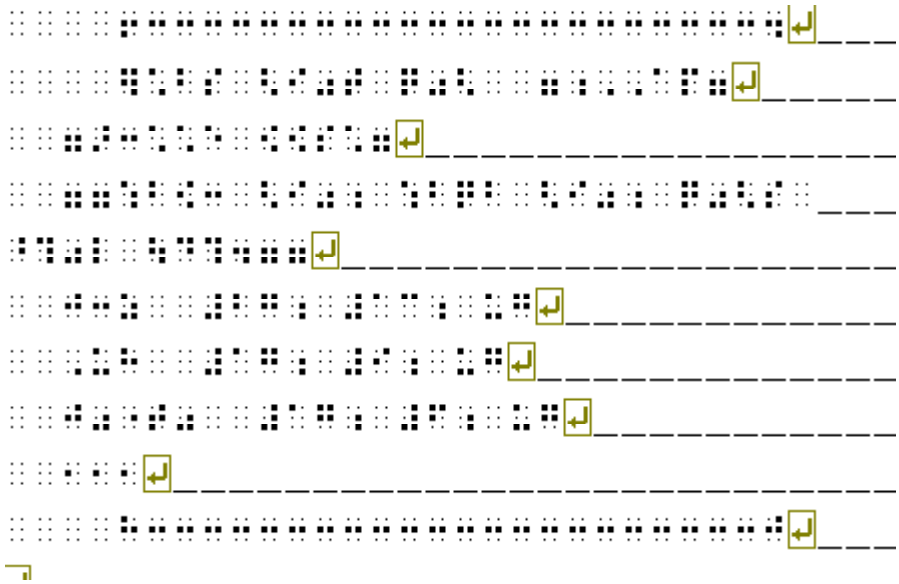
１１月８日に勉強会「表を書く」が開かれました。以下報告いたします。

【例１】

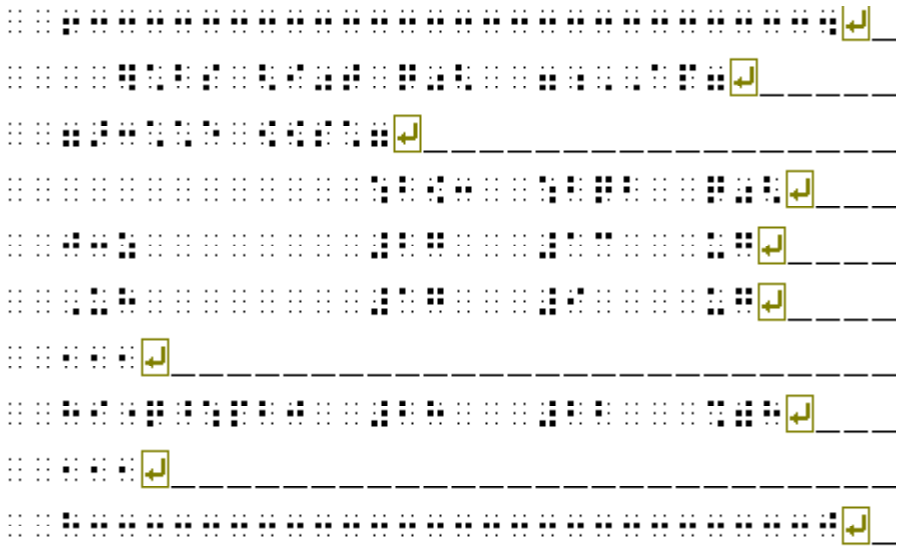
世界の気温と天気　（ＡＰ）　８～９日

	最高	最低	
ローマ	２７	１３	晴
パリ	１７	９	晴
ロンドン	１７	６	晴
ニューヨーク	２７	１８	晴
サンフランシスコ	１８	１２	晴
モスクワ	２２	１３	雨
北京	３４	２３	晴
香港	２８	２５	雨
ソウル	３２	２０	晴
リオデジャネイロ	２８	２２	曇
シドニー	２１	１３	晴

点訳例（１）

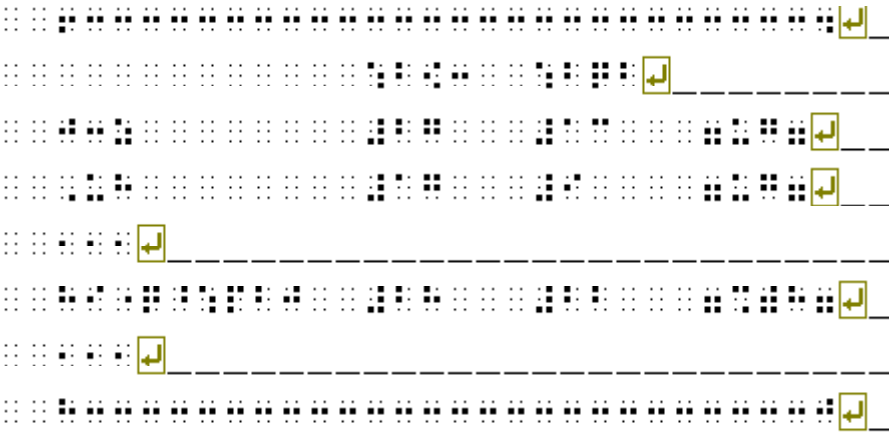


点訳例（２）



点訳例（１）は、このように書くこともできるが、数値の比較をする場合には不便である。
（２）のように数符を縦に揃えて書く（表形式）と数値の比較がしやすく、分かりやすい点訳になる。
原本にない項目の「天気」は入れた方が分かりやすい。入れない場合（ハレ）（クモリ）のようにカッコをつけて書くと良い。

例　（天気に丸括弧を入れた例）



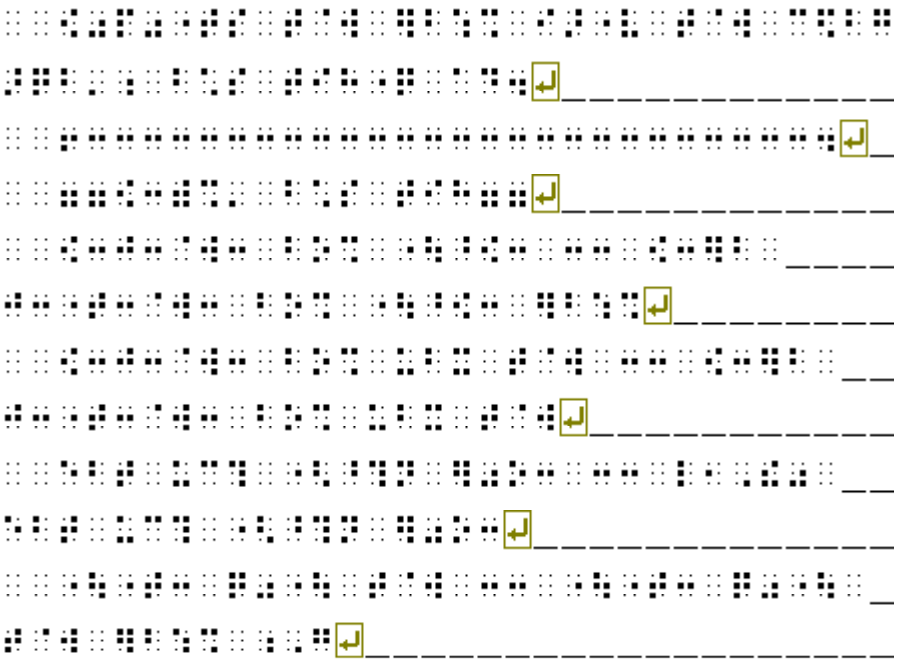
長い都市名等がある場合は行頭から書きはじめ、次の数符との間は２マス以上あける のが基本です。囲みの線の中は本文の書き方と違うレイアウトでよく、割合自由に工夫して書くことができます。

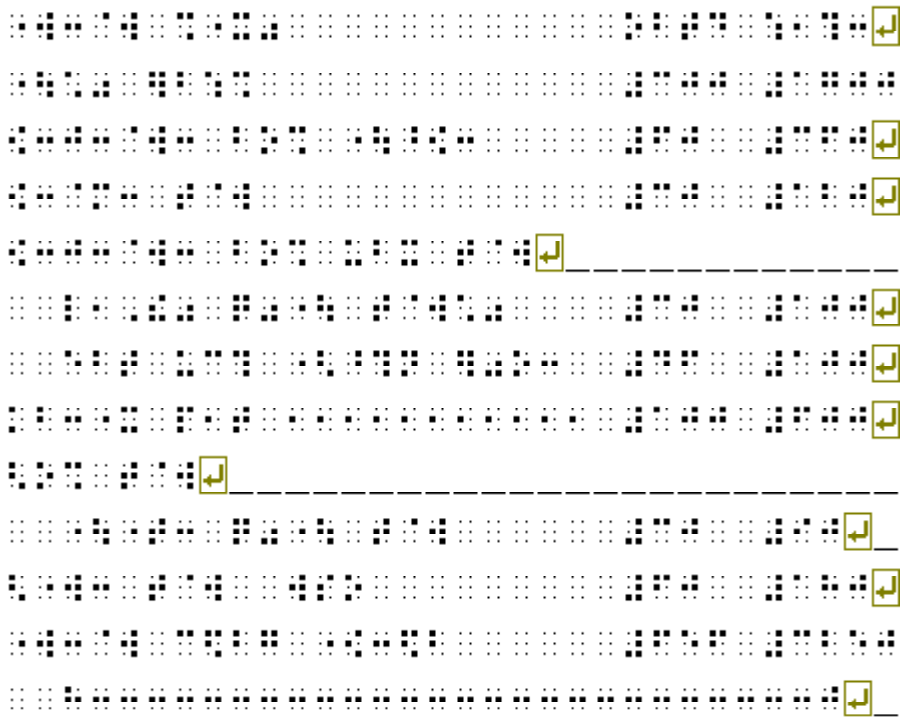
【例２】

今年度の図書製作および図書受入予定は、以下のとおりである。

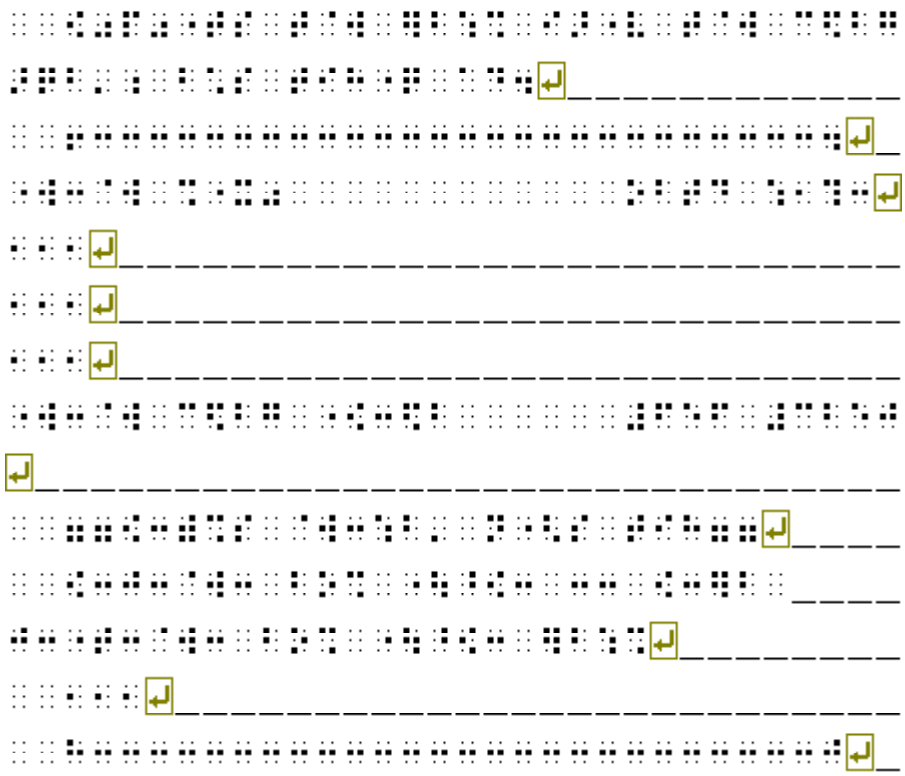
蔵書区分	タイトル	冊数
自館製作	３００	１，７００
厚生労働省委託事業製作	６０	３６０
購入図書	３０	１２０
厚生労働省委託配布図書 日本点字図書館 日本ライトハウス技術センター	 ３０ ４６	 １００ １００
ないーぶネット	１００	６００
寄託図書 児童点字図書製作Ｇ	３０	９０
寄贈図書　その他	６０	１８０
蔵書受入　合計	６５６	３，２５０

点訳例（１）





点訳例（２）



点訳例（１）（２）は説明部分が前にきているか、後ろにきているかの違い。「コーローショー」は一般的に使用されており、説明が後にきても充分理解できるので、このように扱うことができる。なお「ないーぶネット」の項には寄託図書の項目に数字がないので点線を入れて数字が探しやすいように読み取りやすい表の作成をしてあります。

表を点訳する時に心がけましょう

１　点字は一度に全体像を把握できないと言うことを、常に頭に入れて、読みとりやすい表の作成を心がける。

２　表形式で書く場合の最低条件
縦の数符を揃える（次に来る数符との間のマスあけの多い少ないはあってもよい）。
言葉の場合も頭を揃える。

３　項目に大・小がある場合、表を縦に見ようとする時には大きい項目が前に出ていると探しやすい。

４　表が２ページにわたる時は、大きい項目のところから移し、もう一度項目の見出しも書く。

５　項目と数字の間が１０数マスあく時には、点線を入れて数字が探しやすいようにする。

６　表の上・下にある「注」や「出典」は、表を読むのに直接必要かどうかをよく考えて、前に書くか後に書くかを判断する。

７　枠の大きさは２８マス枠、２４マス枠などと、原本の内容や入れる位置によって使い分けができる。

８　文章中の段落のところで表を入れる場合は、前後の行あけは入れなくてよい。

９　文章中で説明の出てきたところのなるべく近くに表を入れるように考える。少し離れたところ（点訳で３ページ位）に入れる場合は、点訳本のページ数を第１カッコで入れるとよい。
（例）表１を見ると　　ヒョー◇１（Ｐ２１）ヲ◇ミルト

10　墨字で「前ページの表」「左記のような表」などと書いてある時、文章を変える必要がある。
（例えば　「次の表」　「Ｐ２１の表」など）

以上

クイズ

下記の漢字は読めますか。『読み方辞書』でも調べられます。一度挑戦してください
答えは次回の『点訳通信』で。

高鼾	札片	簾	艀	天鵞絨	虎杖	銅鑼	杜撰	素面	冶金	栗鼠
黍魚子	驢馬	竹箆	咎	梃子	消炭	媚	百足	胡乱	鼬	兌換
図絵	靴篦	緞帳	針孔	喇叭	摘入	土埃	一角	大胆	喝破	

前回「クイズ」の答え

はっぴ　すかんぴん　ひねもす　なます　めしべ　ひとしお　うなじ　いしだたみ　きめ　あせび　からし
のほうず　たどん　うきくさ　もず　ごはっと　きざ　みいら　こっぷ　うたかた　とんぼ　さぼてん
おてんば　しののめ　なまあくび　そっぽ　ぽんかん　ちろり　ちん　りんぎ　なかつかさ

Timetable

３月　７日　木　　グループＹ．Ｙ．（英語点訳グループ）活動日
　　８日　金　　ボランティア交流会
　１５日　金　　選書委員会
　１５日　金　　数学勉強会
　１６日　土　　「きらっと生きるスペシャル」ＮＨＫ１２ ch 放送　20:00-21:30
　２７日　水　　曜日担当者打ち合わせ　　1:30～
　２８日　木　　コモド（楽譜点訳グループ）活動日

５月　２日　　振り替え休館日

報告　懇談会

懇談会に多数の方が参加していただき有難うございました。初めての経験で、とまどいもありましたが、有意義な意見をいただき感謝しています。お寄せいただいた意見は何らかの形で実現させるつもりです。

選書に関して

・面白い本がない
・利用者が本当に欲しているのか疑問
・本はどのようにして選ばれたのか
・利用者からの要望はあるのか。またどのように反映するのか。
・シリーズ物の点訳をしては。
・企画点訳をしては
・古典、古い本の点訳はどうなっているか
・新しい原本が金曜日まで残らない

⇒　点訳原本は毎月１回（第３金曜日）選書委員会で決定されます。各係から出された選書リストから、２５から３０タイトルぐらい選ばれます。

選書基準は、他の図書館で作られていない（着手も含む）こと、当館の録音図書に無いことです。作成された点字データは「ないーぶネット」に登録されますが、このデータはお互いに共同利用されます。従って、他館で製作された図書はネットを通じて利用できるため重複製作は避けるようにしています。

一般的にボランティアグループは小回りがきくと見えて、話題になった図書はいち早く着手する傾向にあります。どうしても私たちが着手する機会は減ります。

できるだけ新しい図書から、また、同じ傾向に偏らないなどの運用もしています。ご指摘の夏目漱石や芥川龍之介などに代表される、今では古典ともいえるジャンルの点訳は殆どないのも現実です。

ただ、利用者はこれらの本が利用できないかというと、「否」です。すでに多くの本が点訳され現に利用されています。ただ、デジタル化されていないと言うことです。デジタル化された図書の利用価値は高く、これらの図書もできるだけ早くデータ化することが望まれますが、今のところ計画はありません。ただ、全国的に見れば少しずつデジタル化されています。

利用者からの要望は、読者サービス係を通じて上がってきます。しかし、利用者から選書希望を聞くと言うことは、まず墨字図書の目録を提供しなければなりません。利用者にとっても図書館にとっても、かなりの負担になります。

多くの場合は、リクエストという形で要望が寄せられます。利用者からの直接の希望で、多くの場合はかなり個人的・個性的な図書が多いです。

『面白い本がない』という意見もかなりありました。面白い、面白くないは個人の感性により左右されるもので、抽象的な言い回しより具体的な書名をあげて指摘していただければ

有難いです。
　推薦される図書がありましたら、新聞の切り抜きやメモで結構ですのでボックスに入れていただければさらに有難いです。原本そのものを見せていただいても結構です。多くの方からリストをいただければ、それだけ多様な選書が可能です。

　シリーズ物の点訳や企画点訳など積極的な意見が出されました。しかし、月２５タイトルの製作能力では現実のものとするのは困難です。基本的には製作能力を上げていく、他の図書館と連携をさらに進め、全体として不足しているジャンルを埋めていくなど努力が必要です。

利用頻度は

・点訳された本の利用頻度は？
・どうすれば分かるか

⇒　点訳をしていて気になるのは、本当にこの本が利用されているのか。どれぐらい利用されているのか？　気になりますね。特に何ヶ月もかけ苦労した点訳者ならひとしおです。
　４階の読者サービスの書架にある点字図書を手に取ればすぐに分かります。それぞれの図書には図書カードが挟んであり、そこに押された日付の数だけ貸出された事になります。どうぞ自由に見てください。図書の探し方は係の者に聞いて下さい。

校正

・２校表を返す時に校正に利用した墨点字もほしい

⇒　２校者の方には色々お願いし、かなりの負担となっていることかと思いますが、できるだけ校正に利用した墨点字をお返しいただくようお願いします。チェックした部分だけで結構です。これがあると、どの部分の指摘かさらにはっきりします。
　点訳者の皆様にはフロッピーを１枚持っていただいております。それも参考にして下さい。
　２校結果について疑問がありましたら遠慮無く質問して下さい。

勉強会

・理科記号の勉強会を開いてほしい。

⇒　希望がありましたテーマをはじめ、『点訳通信』がいいのか、勉強会がいいのか検討します。

点訳通信

・点訳通信のまとめを作ってほしい

⇒　点訳通信も次回で５０号となります。これを機会に過去の記事をまとめて、読みやすいものがほしいとの希望が多数寄せられました。確かに分冊されていると記事を探すにも不便です。しかし、今年は点訳ルールの改定がありこれの結論を見てから速やかに作業を開始します。もうしばらくお待ち下さい。

表記法　その他

・新しい表記法はいつから使うのですか
・初心者が図や表を試みる方法は
・規則を緩やかにするのは賛成
・漢字の読みや分かち書きなどで幅のあるものは点訳者の意見を尊重して欲しい

⇒　表記法については色々なご指摘をいただきました。ご意見・質問は今後の参考にさせていただきます。またできるだけ機会を見つけて『点訳通信』などで発表できるよう努力して行きます。新しい表記法については下記の項をを参考にして下さい。

『点訳のてびき』改訂版への対応について

昨年末『日本点字表記法　2001年版』が発刊され、それに合せて３月中には『点訳のてびき　第３版』が発行されることになっています。

情文でも『点訳のてびき　第３版』にできるだけ準拠するかたちでこれまでのルールを見直し、今年10月から新表記法へ移行したいと思います。

そのために、新しいルールを検討するプロジェクト・チームを作り、以下のような日程で新ルール採用に向け作業をする予定です。

・２月末　　プロジェクト・チーム委員（５、６人）決定
・４月～７月　月２回、計８回くらい検討会を開き、新ルール決定
・９月　　２回くらい新ルールを説明するための勉強会開催
・10月　　新ルールに基づいた点訳開始

お願い

円滑な２校を進めるために、すでに**下記のような記号を使って点訳者の意思表示** をしていただいております。これによって２校者が再度調べる手間も省け、また点訳者の意思もよく伝わるようになると思います。まだお使いでない方は、現在点訳中の図書からはじめてください。

◎　辞書などで調べたもの
？　辞書になく推測読み、点訳ルール上で迷っているもの
⊕　ルールを理解した上で切れ続きを変えたい場合（希望のキの意味）